

総務 常任委員会

委員会審査報告

厚生文教 常任委員会

● 犯罪被害者等の支援に関する
条例制定を求める請願書

犯罪被害者等がいつでも必要な支援を受けられるよう、「豊後大野市犯罪被害者等の権利の保護に関する条例」を制定することを請願するものです。

委員会では、紹介議員及び執行部から説明を受け、質疑の後、委員間で討議を行い審査しました。

なお、執行部からは「議会の判断を見守り、また県下の情勢や全国的な状況も踏まえて対応したい」との説明がありました。

質 国と自治体の役割分担について、国はどのような態度をとっているのか。

答 自治体は、国と同様の立場をとり、基本理念にのっとり犯罪被害者等の支援等に対し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の地域の実情に応じた施策をやるようになっていきます。

意見 やること自体に反対はないが、この犯罪被害者の支援は、本来は国がやるべき業務ではないか。財力のある自治体と、そうでない自治体がある。地域の財力で、弔慰金に差が生じる可能性があり、亡くなってしまった場合、結局長の価値に差が生じるという懸念を持っている。

意見 この請願の文書を見ると、反対するような文書ではない。財政は執行部が検討すべきであり、議会がこの請願を採択することには、反対する理由を持ちあわせない。

意見 内容的には賛成するけれども、議会からの政策提案は困難であるので、請願を採択し、執行部に条例の制定を促すという形がよいのではないか。

【付託議案の審査結果】
議案11件と請願1件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決、採択すべきとしました。

● 豊後大野市民病院薬剤師就業
支度金貸与条例の制定

すでに薬剤師の資格を有する方に市民病院へ就職していただきたいということで、支度金制度を提案するものです。

内容は、薬剤師の試験に合格し、初めて市民病院に勤務する場合の支度金として120万円を貸与するものと、過去に薬剤師として市民病院に勤務したことがあり、退職して3年以上経過後にまた勤務する場合は60万円を貸与するもので、勤務後、それぞれ一定年限を経過した場合は全額免除できる制度です。

質 金額の算出根拠は。

答 他の病院における看護師の支度金制度や市民病院薬剤師修学資金の設定金額、そして、市民病院と民間の初任給の差から金額を出しています。

● 平成28年度国民健康保険特別
会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1221万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ61億7273万3千円とするものです。

質 国県等支出金返還金について、健診の受診者が少なかったということか。

答 目標として見込んでいた額よりも少なかったということ、その分の返還になります。

意見 40代、50代、60代の受診率を上げるよう検討を。

【付託議案の審査結果】
議案5件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきとしました。

産業建設

常任委員会

●平成28年度簡易水道特別会計
補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ1916万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6億3087万4千円とするものです。歳出の内訳は職員給与改定に伴う4万円の増額、千歳簡水送水管布設工事を1920万円減額するものです。

【質】 仮舗装しているところは歩道部分が多いが、全面舗装するのか。

【答】 仮舗装は掘削の影響部分だけ仮復旧していますが、歩道は一応全幅復旧する予定です。

【質】 供用開始はいつ頃か。

【答】 平成29年度中には水が送れる状況になるかと思えます。



千歳簡水送水管布設工事の状況

【付託議案の審査結果】
議案4件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決すべきとなりました。

あなたの意見や要望

請願・陳情

●犯罪被害者等の支援に関する条例制定を求める
請願書

〔請願者〕ピアサポート大分絆の会
〔請願者〕公益社団法人大分被害者支援センター
〔紹介議員〕佐藤 辰己

【請願趣旨(一部)】

国においては、犯罪被害者等の権利利益の保護を図ることを目的に平成16年12月に犯罪被害者等基本法を制定し、犯罪被害者等に対する支援に関し、同法5条により、地方公共団体の責務が明記された。さらに、平成17年12月には施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、犯罪被害者等基本計画が策定され、平成28年4月には第3次犯罪被害者等基本計画が閣議決定され、重点課題の第一として「損害回復・経済的支援等への取組」等が掲げられている。犯罪被害者等がいつでも必要な支援を途切れることなく受けられるよう、「豊後大野市犯罪被害者等の権利の保護に関する条例」を制定することについて請願する。



全会一致で

採決